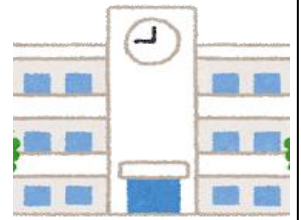


入間川中だより

狭山市立入間川中学校
令和2年9月25日号
発行者 関根保子
体育祭無事終了号

行事を通して大きく飛躍

体育祭で盛り上がり、
学校らしい姿が戻りました。



雨の心配もあり、プログラムを大きく変更した体育祭でしたが、最後まで雨が降ることなく、涼しく動きやすい環境で盛大に終わることができました。

【まずは、お礼です。】 早朝よりおやじの会と会員以外のお手伝いの方、PTA役員の方々にお手伝いいただきました。実は当日だけでなく、前日、またはそれ以前より打合せや準備に何度も学校においていただきました。また、地域の方々（自治会関係）にもテントをお借りし、前日に運んでいただきました。保護者の皆様には参観の人数制限等で窮屈な思いをさせてしまいましたが、受付では皆さんの協力でトラブル一つなく、気持ちよくご参観いただけました。すべての皆様に心より感謝申し上げます。ご協力ありがとうございました。



【行事を通して学ぶこと】 おかげさまで生徒たちの躍動感あふれる姿をお見せすることができました。3年生を中心に進めてきたダンス練習、学年の枠を超え、団で円陣を組み、声を掛け合う姿、競技中に困っている子に用具係がそっと手を差し伸べてフォローする場面、クラス内では対立したり助け合ったりする涙と笑いのドラマがあり、これらを乗り越えて生徒一人一人の心が大きく成長することができました。まさに行事は結果だけでなく、取組みの過程において「**人との関わりを学ぶ**」ことのできる貴重な時間となるわけです。これは学校でなければ体験できないことです。



【感染予防対策を取りつつ、学校らしくいたい】 新型コロナ感染予防対策として各市町では様々な対応をしています。答えは一つではないので、どれも正しいと思いますが、「中止」「できない」だけではなく、「どうすれば少しでもできるのか」を追求しながら、子どもたちの成長のために可能な範囲で学校行事の取組みをさせてあげたいと願うばかりです。学校が再開し、生徒の笑顔が戻った6月、「**やっぱり学校っていいな**」とつくづく思いました。2学期は行事が次から次へとやってきます。修学旅行、宿泊学習、なでしこ祭、ロードレース大会・・・どの行事も直前で「中止」とならないよう、子どもたちが思い切り楽しめて、成長できる貴重なチャンスとするために川中全員で頑張りますので、応援よろしくをお願いします。そのためには「**みんな(生徒も、職員も、家族も)が健康であること**」「**学校にコロナを忍び込ませないこと**」に十分留意し、**必ず保護者の責任のもと、「健康チェック」を行うよう重ねてお願い**申し上げます。



中間テスト前・朝イチ学習やいますよ！

- *10/2(金)、5(月)朝7:30~8:10
- *教室を自習室に開放します。
- *自分の席で、「黙って、集中して、真剣に」勉強したい人はぜひ来てください。
- *参加しない人は8:10以降の登校か、学習室で待機。
- *もしかして「予想問題」のプリントが出るかな？

◀10月上旬の予定▶

- 1(木) 専門委員会
- 2(金) 朝イチ学習①、眼科検診、英語検定
- 5(月) 朝イチ学習②
- 6(火) 集金日 3年内科検診
- 7(水)、8(木) 中間テスト
- 10(土) 土曜授業日
- 12(月) 教育実習開始



女兒連れ去り

つかり話し合う必要がある。
横浜市の小学4年の女兒を2日

スマートフォンを借り、自宅でオンラインゲームをすることがあった

子供がオンラインゲームで知り合った相手に誘い出され、犯罪被害に遭う事件が相次いでいる。利用の危険性について、家庭や学校で、子供として

半にわたって連れ回したとして、30歳代の無職の男が未成年者誘拐容疑で神奈川県警に逮捕された。「一緒にゲームをしよう」と誘い出した疑いがある。女兒は、親が使わなくなったスマートフォンを借り、自宅でオンラインゲームをすることがあった

ネット利用に目配りが必要だ

読売新聞 R.2.9.19



オンラインゲーム

子どもは楽しくてやめられない。だけど……

- *複数のプレイヤーが参加しメッセージの交換が楽しめるのは魅力的だろうが、見知らぬ人とつながる危険があることを忘れてはいませんか？
- *子どもが使う機器やアプリにどのような機能があるか、親自身がよく認識できていますか？
- *親子で決めたルールを守らせていますか？
- *年齢に見合った制限をかけていますか？

ネットやスマホの使い方、ゲームの使用時間の約束事は守れていますか？昼夜逆転になると、元に戻せず、学力低下を招きます。生き生きとした学校生活を送れるよう、もう一度家族で話し合ってみましょう。

という。男はゲームの参加者同士がやりとりする通信機能を使い、女兒に連絡したとみられる。

子供の警戒心の薄さにつけ込んだ卑劣な犯行である。無事に保護されたとはいえ、女兒の恐怖はいかばかりだったか。

オンラインゲームでは、女兒が男と知り合い、わいせつ目的で呼び出されたり、裸の動画を送らされたりする事件も起きている。

複数のプレイヤーが参加でき、メッセージの交換も楽しめるのは子供にも魅力的だろう。ただ、見知らぬ人とつながる危険があることを忘れてはならない。

子供が知らない人と出会うきっかけは、ゲームだけではない。最近、小学5年の女兒が男に連れ去られた事件では、若者に人気がある動画共有アプリのメッセージ機能が連絡手段に使われた。

ゲームやSNSなどのやり取りを契機に、犯罪に巻き込まれた18歳未満の子供は、昨年初めて2000人を超えた。児童買春、わい

せつな動画や画像の撮影、強制性交といった被害が多い。

被害者の大半は中高生だが、小学生も増加傾向にある。インターネットやスマホ利用の低年齢化が背景にあるのだろう。

内閣府の昨年度の調査では、小学生の86%がネットを利用し、37%がスマホを使っていた。9歳以下の低年齢層では、動画の視聴やゲームでの利用が多い。

子供が使う機器やアプリにどのような機能があるか、親自身がよく認識しておく必要がある。ゲームを含めたネット利用のルールを定め、年齢に見合った適切な制限をかけることも有効だろう。

重要なのは、ネットに潜む危険を繰り返し伝えることだ。子供は見知らぬ相手でも、やりとりしているうちに安心できると思い込んでしまうことがある。

性別や年齢を偽り、悪意を持って接触しようとする相手はどこにでもいる。頻発する事件は、決して人ごとではない。